

日英教育研究フォーラム／日英教育学会 研究大会の歩み

結成記念大会 テーマ	1992 年 7 月 28 日 1980 年代の教育改革	早稲田大学国際会議場
第 2 回大会 テーマ	1993 年 7 月 26 日・27 日 教育史研究の現在	中央大学駿河台記念館
第 3 回大会 テーマ ゲスト	1994 年 8 月 27 日・28 日 教育社会学の現在 スティーブン・ボール(ロンドン大学キングス・カレッジ)	国立教育研究所
第 4 回大会 テーマ ゲスト	1995 年 8 月 23 日・24 日 職業資格問題 ジョン・ミッチェル(スコットランド視学官)	早稲田大学国際会議場
第 5 回大会 テーマ ゲスト	1996 年 8 月 31 日・9 月 1 日 教師教育の動向と課題 リチャード・オールドリッチ(ロンドン大学教育学大学院)	立命館大学末川記念館
第 6 回大会 テーマ ゲスト	1997 年 8 月 26 日・27 日 1980 年代教育改革の意義 グリー・マカロック(シェフィールド大学)	早稲田大学教育学部
第 7 回大会 テーマ ゲスト	1998 年 9 月 17 日・18 日 教師教育の将来 ピーター・ギルロイ(シェフィールド大学)/清水 潔 (文部省高等教育局)	早稲田大学国際会議場
第 8 回大会 テーマ	1999 年 9 月 6 日・7 日 高等教育改革に関する日英比較	京都大学楽友会館

ゲスト ロナルド・バーネット(ロンドン大学院大学教育学研究科)

第 9 回大会 2000 年 9 月 30 日・10 月 1 日 早稲田大学国際会議場

テーマ 21 世紀の学校教育とカリキュラムの構造

ゲスト マイケル・F・ヤング(ロンドン大学教育学大学院)

第 10 回大会 2001 年 9 月 29 日・9 月 30 日 早稲田大学教育学部

テーマ 教育とセクシュアリティ

ゲスト ダイアン・レナード(ロンドン大学教育学大学院)

マイケル・ライス (ロンドン大学教育学大学院)

第 11 回大会 2002 年 9 月 29 日・30 日 早稲田大学

テーマ イスラームと学校・教育

ゲスト ジェフリー・ウォルフオード(オックスフォード大学グリーンカレッジ)

第 12 回大会 2003 年 7 月 20 日・21 日 京都女子大学

テーマ 英国の教育界における<公私>関係の現状とその示唆するもの

ゲスト ヴィヴィアン・アンソニー(前全国校長会事務局長)

*この年から日英教育学会と改称

第 13 回大会 2004 年 7 月 26 日・27 日 東京都立大学

テーマ 「第三の道」?としてのニュー・レイバーの教育政策

ゲスト シャロン・ゲワーツ (ロンドン大学キングス・カレッジ)

第 14 回大会 2005 年 7 月 23 日・24 日 佛教大学

テーマ 教育におけるキーワードとしてのミドルクラス

ゲスト スティーブン・ボール (ロンドン大学教育学大学院)

第 15 回大会 2006 年 7 月 29 日・30 日 東京都立大学

テーマ 比較教育の昨日・今日・明日

ゲスト マイケル・クロスリー (ブリストル大学)

第 16 回大会 2007 年 7 月 14 日・15 日 京都女子大学

テーマ イギリスのインスペクションから学べること・学べないこと

ゲスト 高妻 紳二郎 (九州産業大学)

日英教育学会スカラシップの歩み

- 1998年 第一回 British Council=UK-Japan Educational Forum Scholarship
受賞者 松本 純 (明治学院大学院生)
「19世紀末ロンドン商業会議所による実学教育の取り組み」
- 受賞者 天童睦子 (早稲田大学大学院)
「ジェンダーと教育」
- 1999年 第二回 British Council=UK-Japan Educational Forum Scholarship
受賞者 小宮明彦(早稲田大学大学院)
「学校におけるヘテロセクシズムを越えるために」
- 2000年 第三回 British Council=UK-Japan Educational Forum Scholarship
中止
- 2001年 第三回 British Council=UK-Japan Educational Forum Scholarship
受賞者 新井英靖 (茨城大学)
「イギリス特別教育史の構想」 (これ以降受賞論文は紀要に掲載される)
- 2002年 第四回 British Council=UK-Japan Educational Forum Scholarship
受賞者 小松佳代子 (流通経済大学)
「J・ベンサム立法論における統治と教育」
- 2003年 第五回 日英教育学会スカラシップ (改称)
受賞者 石黒万里子(早稲田大学大学院)
「ブレア新労働党政権の家族・教育政策」
- 受賞者 野上祥子(東京芸術大学大学院)
「イングランドの音楽科教員養成における理論と実践の統合」

2004 年 第六回 日英教育学会スカラシップ
受賞者 該当者無し

2005 年 第七回 日英教育学会スカラシップ
受賞者 応募者無し

2006 年 第八回 日英教育学会スカラシップ
受賞者 該当者無し

2007 年 第九回 日英教育学会スカラシップ
受賞者 北山 夕華 (大阪大学大学院)
「イングランドの市民性教育の実践とその課題—低階層地域の学校の事例が示唆するもの—」

2008 年募集中止

日英教育学会紀要投稿規定

- (1) 投稿受付は随時とするが、最終締切は毎3月31日とする。
- (2) 投稿資格は本学会の会員であること。
- (3) 論文の形式は自由であるが、表紙にタイトルと氏名を明記すること。本文は註を含め、400字詰め原稿用紙50枚以下とする。英文の場合は5000 words程度とする。打ち出し原稿3部のほかに、英文要約(500 words以内)をつけ、フロッピー・CD-ROM・Eメール(テキストファイル、またはword文書)で提出する。論文は未発表のものに限る(口頭発表はその限りではない)。
- (4) 事務局は投稿論文を受け取り後、すみやかに3名から構成される審査委員会(うち委員長としての運営委員1名以上を含む)を設置し、論文の審査を依頼する。
- (5) 投稿論文は一切返却しない。
- (6) 審査委員会は提出された論文に対して修正を求めることができる。
- (7) 審査委員会の構成および審査過程、審査結果は公表しない。
- (8) 採用論文は本学会の紀要に掲載される。

論文提出先

〒192-0369 八王子市南大沢 1-1
首都大学東京 人文・社会系 教育学
大田直子研究室気付
日英教育学会紀要担当